

会告 I

第59回日本輸血・細胞治療学会総会 開催のご案内 (第3報)

テーマ：輸血・細胞療法：過去・現在・未来

この度は、その前週に東京で開催される日本医学会総会に合わせ、例年より早い開催となり、一般演題の募集期間も前倒しとなりました。どうか皆様方におかれましては、ふるって応募していただくとともに、多くのご参加をお願い申し上げます。

なお、会員の皆様方からいただいた多くのご意見を参考にして、企画委員会で特別プログラムを編成致しました。

第59回日本輸血・細胞治療学会総会
総会長 半田 誠
(慶應義塾大学輸血・細胞療法センター)

記

1. 会 期：2011年（平成23年）4月14日（木）～16日（土）

2. 会 場：京王プラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1

電話：03-3344-0111

3. 演題募集期間：平成22年9月15日（水）～10月27日（水）

4. 特別プログラム概要（仮題）

1) 特別講演

1. 福沢諭吉生誕175周年記念講演/山内 慶太（慶應義塾大看護医療学部）
2. Update of EBM in platelet transfusion practice/Sherrill J. Slichter（Puget Sound Blood Center）
3. 幹細胞の話/須田 年生（慶應義塾大医学部）

2) 教育講演

1. アジアにおける赤血球不規則抗体調査報告
2. 周産期管理に必要な輸血検査
3. 輸血部門における第三者による外部監査の必要性和その意義（ISO15189認証とI&A認証の経験）
4. HITの現状と問題点（多施設共同研究結果）
5. DIC治療における輸血療法の役割
6. HTLV-1感染症の現状（総論、疫学、対策と課題）
7. ABO不適合輸血の発生原因の解析
8. I&Aの現状と課題
9. 輸血による免疫修飾—今日的意義

3) シンポジウム

1. 将来の輸血医療を見据えて/職種間の連携によるチーム医療の構築（会長シンポジウム）
2. 細胞移植、細胞治療にかかわる国と学会の指針（造血細胞移植学会、再生医療学会との合同）
3. 世界の血漿分画製剤治療の現況
4. 我が国の輸血安全はどこまで確保されたか

5. 輸血のトリガー値を検証する
 6. 輸血検査の変遷と今後の進歩
 7. 新興輸血感染症の疫学と病態
 8. 造血幹細胞移植のための Cell Processing の過去：基礎研究を振り返る
 9. 基礎から臨床へ/学術振興委員会企画
- 4) パネルディスカッション
1. 輸血医学教育の課題
 2. 外科手術における Blood Conservation & Management
 3. 県合同輸血療法委員会の役割とその意義（輸血問題検討部会）
 4. さあ困った、こんな時どうすればいいか？（特別企画）
- 5) ワークショップ（一部指定）
1. 輸血システムと電子カルテ
 2. 輸血安全と適正使用推進に果たす臨床検査技師の役割
 3. 自己血輸血（学会認定・自己血輸血看護師制度協議会指定セミナー）
- 6) テクニカルセミナー：造血細胞処理/細胞治療委員会・Cell Processing 小委員会企画
- 7) イブニングセミナー：輸血検査の標準化のバリア/検査技師教育推進委員会企画
5. 参加費：一般参加費 10,000 円
6. 第 59 回総会本部：
慶應義塾大学病院輸血・細胞療法部
〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地
TEL：03-5363-3715（直通） FAX：03-3353-9706
E-mail：mhanda@sc.itc.keio.ac.jp
7. 第 59 回総会運営事務局（演題登録・展示申込等）：
株式会社 サンブラネット内
〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6 ニッセイ音羽ビル 1 階
TEL：03-5940-2610 FAX：03-3942-6396
E-mail：59annual@sunpla-mcv.com
8. 学会本部事務局（学会入会申込等）：
一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会 事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-14-14 ユニテビル 5 階
TEL：03-5804-2611 FAX：03-5804-2612
E-mail：59annual@jstmct.or.jp
9. 第 59 回総会ホームページ：<http://www.jstmct.or.jp/jstmct59/>